

平成28年

火災・救急・救助  
などの活動概況



©稲沢市いなッピー  
火の用心

稲沢市消防本部

# 目 次

稲沢市管内概要 .....	1
緊急出動概況 .....	2
119番受信概況 .....	4
訓練指導及び調査概況 .....	5
予防概況 .....	7

## **火災**

火災概況 .....	10
年別出火件数・年別損害額 .....	11
署別出火件数・月別出火件数 .....	12
曜日別出火件数・時間別出火件数 .....	13
火災による死傷者数 .....	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移 .....	15

## **救急**

救急概況 .....	16
種別ごとの救急出場件数 .....	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数 .....	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員 .....	19
傷病程度別搬送人員・収容所要時間別搬送人員 .....	20
曜日別救急出場件数及び搬送人員 .....	21

## **救助**

救助概況 .....	22
------------	----

# 稲沢市管内概要

## 面積・人口・世帯数

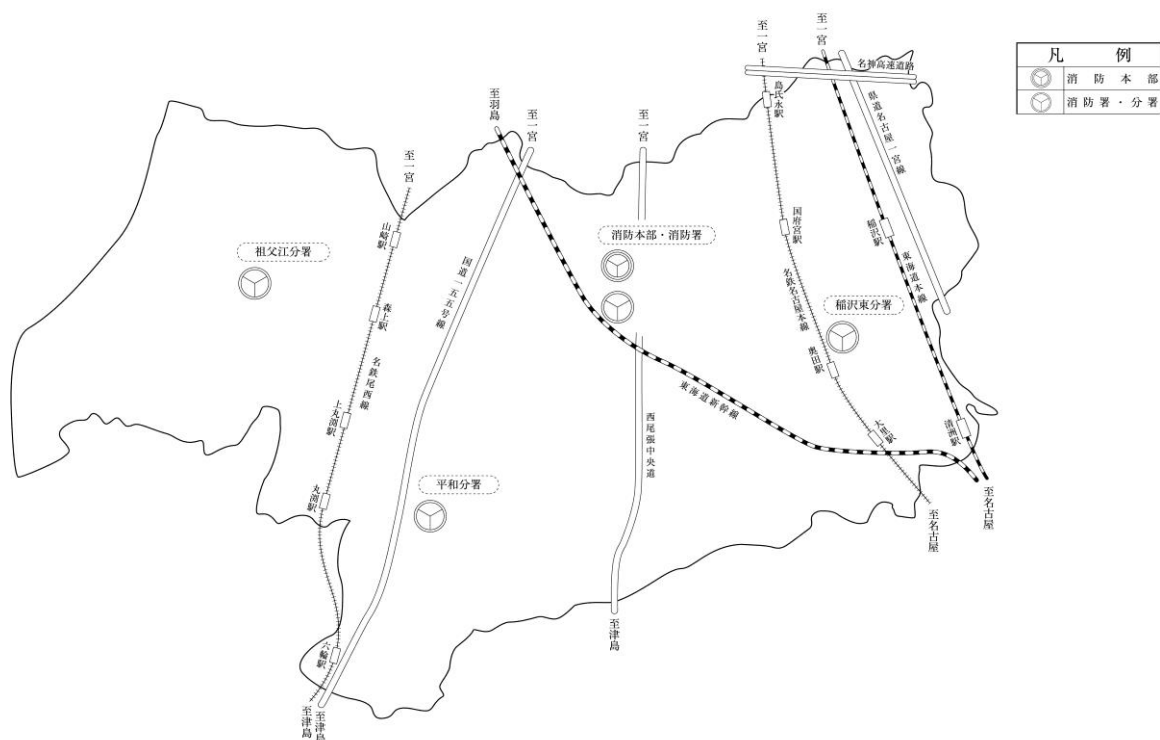
平成29年1月1日現在

区分	面積(k m <sup>2</sup> )	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.35	68,462	69,442	137,904	53,449

## 消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名称	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

## 消防本部・消防署配置図



## 緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり7,245件で、前年と比較して420件増加している。1日当たりの平均出動件数は20件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に1,192件の緊急出動をしている。

緊急出動を種別に見ると、救急出場が5,884件(81.2%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,022件(14.1%)、警戒出動が170件(2.4%)の順となっている。

**第1表 緊急出動状況**

(件)

種別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率
署別								
本署	平成27年	35	1,693	42	96	282	2,148	31.5%
	平成28年	32(1)	1,576	55	75	296	2,034	28.1%
稲沢東分署	平成27年	20(1)	2,308	15	39	282	2,664	39.0%
	平成28年	14(2)	2,554	23	42	380	3,013	41.6%
祖父江分署	平成27年	12(1)	889	9	27	130	1,067	15.6%
	平成28年	15	909	6	22	184	1,136	15.7%
平和分署	平成27年	15(1)	763	8	56	104	946	13.9%
	平成28年	13(2)	845	11	31	162	1,062	14.6%
合計	平成27年	82(3)	5,653	74	218	798	6,825	100%
	比率	1.2%	82.8%	1.1%	3.2%	11.7%		
	平成28年	74(5)	5,884	95	170	1,022	7,245	100%
	比率	1.0%	81.2%	1.3%	2.4%	14.1%		

(注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。

2 「救急支援出動」とは、119番通報時に心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要などときに出動するものをいう。

3 火災の( )内の数値については、事後聞知の火災件数

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおり年間を通じて平均的に出動している。

火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で85件、警戒出動は月平均で14件出動している。

第2表 月別緊急出動状況

(件)

月別 種別・署別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	合計
		火災	本署	3	2	7(1)	4	4	1	3	2	3	1	1	1
稲沢東分署	1		1	1	1		1	2(1)	1	1	2(1)	1	2	14(2)	
祖父江分署	3		1	3	2			2		2		1	1	15	
平和分署	2			3(1)	3	1		2(1)	1				1	13(2)	
小計	9		4	14(2)	10	5	2	9(2)	4	6	3(1)	3	5	74(5)	
救急	本署	144	163	133	120	125	111	146	139	126	94	128	147	1,576	5,884
	稲沢東分署	216	207	206	217	192	213	220	254	179	194	231	225	2,554	
	祖父江分署	86	79	85	78	73	74	70	80	63	58	83	80	909	
	平和分署	71	77	68	64	67	68	80	73	65	68	58	86	845	
	小計	517	526	492	479	457	466	516	546	433	414	500	538	5,884	
救助	本署	1	6	6	3	3	3	11	4	2	5	5	6	55	95
	稲沢東分署	1	1	4	1	1	1	2	2	1	4	2	3	23	
	祖父江分署		1	2	1			2						6	
	平和分署			3			1	4	1			2		11	
	小計	2	8	15	5	4	5	19	7	3	9	9	9	95	
警戒	本署	8	8	4	4	5	7	7	5	8	5	11	3	75	170
	稲沢東分署	6	8	2	2		2	1	4	7	2	2	6	42	
	祖父江分署	1	3	1		1	2	3	2	1	1	5	2	22	
	平和分署	1	2	2		2	3	4	4		4	7	2	31	
	小計	16	21	9	6	8	14	15	15	16	12	25	13	170	
救急支援	本署	26	31	23	21	17	18	32	29	17	17	34	31	296	1,022
	稲沢東分署	30	25	31	26	27	34	33	40	29	33	33	39	380	
	祖父江分署	12	13	18	18	14	10	13	24	17	14	12	19	184	
	平和分署	7	12	13	10	14	10	19	12	21	14	9	21	162	
	小計	75	81	85	75	72	72	97	105	84	78	88	110	1,022	
合計	619	640	615	575	546	559	656	677	542	516	625	675	7,245		

(注) 火災の ( ) 内の数値については、事後聞知の火災件数

## 119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり8,288件で、前年と比較して28件増加している。1日当たりの平均受信件数は22.6件で、毎年増加傾向となっている。

119番受信区分では、固定電話からの119番が5,197件で62.7%、携帯電話からの119番が3,091件で37.3%となっている。

第1表 119番受信状況

(件)

年別	区分	火災	救急	救助	その他の災害	いたずら	その他	合計
26年	固定電話	45	3,566	15	39	86	1,183	4,934
	携帯電話	99	1,881	38	77	61	869	3,025
	合計	144	5,447	53	116	147	2,052	7,959
27年	固定電話	42	3,651	21	41	341	1,255	5,351
	携帯電話	52	1,975	37	103	29	713	2,909
	合計	94	5,626	58	144	370	1,968	8,260
28年	固定電話	29	3,443	15	32	327	1,351	5,197
	携帯電話	44	2,080	38	51	19	859	3,091
	合計	73	5,523	53	83	346	2,210	8,288

(注) 1 「その他の災害」とは、警戒、調査等で火災・救急・救助以外の災害をいう。

2 「その他」とは、間違い、病院問合せ、訓練通報等の用件で119番通報受信したものをいう。

## 訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計2,515回で、前年と比較して31回減少している。1日当たりの平均では、訓練指導は2回、調査回数は5回となっている。

訓練指導及び調査回数を種別に見ると、75歳以上の1人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火査察を1,593戸(63.3%)実施しており、次いで地理水利調査が265回(10.5%)、消防団訓練指導が212回(8.4%)の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計298団体(11.8%)に対して訓練指導を実施している。

第1表 訓練指導及び調査状況

(回)

署別	種別	消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	住宅防火査察	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率
		本署	平成27年	117	32	47	49	60	29	549	73	14	1
	平成28年	54	31	40	35	59	24	545	92	7		887	35.3%
稲沢東分署	平成27年	38	37	41	19	22	6	590	75	9		837	32.9%
	平成28年	83	40	40	22	19	4	605	66	5		884	35.1%
祖父江分署	平成27年	53	9	29	9	8	1	225	48	15		397	15.6%
	平成28年	42	10	12	13	6	1	234	48	1		367	14.6%
平和分署	平成27年	33	16	24	12	9		196	46	5		341	13.4%
	平成28年	33	16	28	11	8	2	209	59	11		377	15.0%
合計	平成27年	241	94	141	89	99	36	1,560	242	43	1	2,546	100%
	比率	9.4%	3.7%	5.5%	3.5%	3.9%	1.4%	61.3%	9.5%	1.7%	0.1%		
	平成28年	212	97	120	81	92	31	1,593	265	24	0	2,515	100%
	比率	8.4%	3.9%	4.8%	3.2%	3.7%	1.2%	63.3%	10.5%	1.0%	0.0%		

- (注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。  
 2 査察及び調査は、消防署の計画に基づき行うものをいう。  
 3 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数をいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおり普通救命講習会及び地理水利調査は、年間を通して平均的に実施している。消防団訓練指導は、ポンプ車操法指導の関係で4月及び5月に、自主防災会訓練指導は、防災訓練等の関係で9月から11月に集中的に実施している。

住宅防火査察及び枯草調査は、各目的に応じて実施しているため、実施月に偏りが生じている。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(回)

種別・署別		月別												小計	合計		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
消防団	訓練指導																
	本署				31	23											54
	稲沢東分署				28	22	18	15									83
	祖父江分署		1		27	13						1					42
	平和分署				23	10											33
	小計	0	1	0	109	68	18	15	0	0	1	0	0	0	0	212	212
自主防災会	訓練指導																
	本署	1		5	1		1	2	1	2	10	6	2				31
	稲沢東分署	1	2	1	1	3	3	2	2	8	11	5	1				40
	祖父江分署						2			3	2	3					10
	平和分署			1		3		1	3	3	2	1	2				16
	小計	2	2	7	2	6	6	5	6	16	25	15	5			97	97
事業所	訓練指導																
	本署		1	3	2	4	4	3	2	6	3	10	2				40
	稲沢東分署	2	3	7	5		2		1	1	10	8	1				40
	祖父江分署		1	3		1	2			2		2	1				12
	平和分署		1	2		7	2	3	2	2	5	4					28
	小計	2	6	15	7	12	10	6	5	11	18	24	4			120	120
教育機関	訓練指導																
	本署		2		2	7	6	1	6	2	6	3					35
	稲沢東分署				1	2	1		1	2	4	8	3				22
	祖父江分署					1	2		1		4	5					13
	平和分署	1		2			1		1		2	4					11
	小計	1	2	2	3	10	10	1	9	4	16	20	3			81	81
普通救命講習会	講習会																
	本署	3	3	3	3	2	5	8	13	10	3	4	2				59
	稲沢東分署		2		1	2	4	1	4	3	2						19
	祖父江分署				1		2			3							6
	平和分署		1		1	2			1		1	2	0				8
	小計	3	6	3	6	6	11	9	18	16	6	6	2			92	92
消防署見学	見学																
	本署	1	1	1	3	6	6		3	1		2					24
	稲沢東分署					2	1					1					4
	祖父江分署				1												1
	平和分署					1						1					2
	小計	1	1	1	4	9	7	0	3	1	0	4	0			31	31
住宅防火査察	査察																
	本署	101									147	137	160				545
	稲沢東分署	162									143	153	147				605
	祖父江分署	51									47	72	64				234
	平和分署	41									54	57	57				209
	小計	355	0	0	0	0	0	0	0	0	391	419	428			1,593	1,593
地理水利調査	調査																
	本署	16	9	9	4	6		13	8	7	6	6	8				92
	稲沢東分署	1	8	9		2		16	9	10	1	4	6				66
	祖父江分署	2	5	8	6	5	6		2	2	4	3	5				48
	平和分署	6	3		7	8	7	7	1	1	6	6	7				59
	小計	25	25	26	17	21	13	36	20	20	17	19	26			265	265
枯草調査	調査																
	本署	2	1	1								1	2				7
	稲沢東分署	2	2	1													5
	祖父江分署	1															1
	平和分署	3	3	2							1	2					11
	小計	8	6	4	0	0	0	0	0	0	1	3	2			24	24
はしご車	接梯調査																
	本署																
	稲沢東分署																
	祖父江分署																
	平和分署																
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		397	49	58	148	132	75	72	61	68	475	510	470				2,515

(注) 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数



# 予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均10.7件である。届出状況をみると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く1,162件（29.7%）、次いで道路工事届出書が983件（25.1%）となっている。

**第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況**

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	150	3.8%
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 設 置 届 出 書	186	4.8%
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 点 検 結 果 報 告 書	1,162	29.7%
防 火 管 理 者 選 任（ 解 任 ） 届 出 書	195	5.0%
消 防 計 画 作 成（ 変 更 ） 届 出 書	222	5.7%
道 路 工 事 届 出 書	983	25.1%
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	715	18.3%
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 設 備 設 置 届 出 書	25	0.6%
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	27	0.7%
催 物 開 催 届 出 書	10	0.3%
露 店 等 の 開 設 届 出 書	73	1.9%
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	40	1.0%
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	63	1.6%
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	44	1.1%
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	15	0.4%
合 計	3,910	100%

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。1か月あたり平均15.9件の消防同意を実施している。区分別では新築が145件（75.9%）である。

**第2表 区分別消防同意状況** (件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新築	13	12	17	13	11	12	8	10	13	16	18	2	145	75.9%
増築	4	2	4	1	1	7	5	6	4	5	3	2	44	23.1%
改築		1											1	0.5%
用途変更													0	0.0%
その他				1									1	0.5%
合計	17	15	21	15	12	19	13	16	17	21	21	4	191	100.0%

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

**第3表 消防用設備等の検査状況** (件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消火器	消火器	4	3	12	2	2	1	2	2	4	3	4	2	41	17.7%
	屋内消火栓設備		1	2			1	1	2	3		1		11	4.7%
	パッケージ型消火設備			1	2	2								5	2.2%
	スプリンクラー設備			1	2		2	1	2	3	1	3		15	6.5%
	屋外消火栓設備								1	1	1			3	1.3%
	泡消火設備													0	0.0%
	粉末消火設備													0	0.0%
	ガス消火設備			1										1	0.4%
	動力消防ポンプ設備	1												1	0.4%
	警報設備	自動火災報知設備	7	6	10	6	5	2	4	6	12	7	5	3	73
消防機関へ通報する火災報知設備		1	1	1	2	1	1		1		1	2		11	4.7%
非常警報器具・設備		2		4				1					2	9	3.9%
非常放送設備			1					2	2	1	1	2		9	3.9%
漏電火災警報器														0	0.0%
避難設備	避難器具		1	1	1	1			1					5	2.2%
	誘導灯・誘導標識	4	2	8	4	2	2	4	4	7	2	4	2	45	19.4%
その他	消防用水									1			2	3	1.3%
	連結送水管													0	0.0%
	非常コンセント設備													0	0.0%
	排煙設備													0	0.0%
合計	19	15	41	19	13	9	15	21	32	16	21	11	232	100.0%	

平成28年中における稲沢市内の危険物製造所等は293施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は第4表のとおりである。

**第4表 危険物製造所等の許可・届出状況** (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置		1			1				2				4
	変 更	1	2	1	1	4		4		10			30	53
仮 使 用 承 認		1		1	1	3				9			30	45
完成検査	設 置		1			2				2			1	6
	変 更	1	2	1	1	5				9			30	49
予 防 規 程 認 可										1			1	2
軽 微 な 工 事 届		2	2	1					1	17			35	58
品名・数量・倍数変更届													1	1
保安監督者選任・解任届			8	1		2				10			5	26
廃 止 届			1			2				2				5
合 計		5	17	5	3	19	0	4	1	62	0	0	133	249

(注) 危険物製造所等の数は平成28年12月31日現在

# 火 災 概 況

火災の状況をみると第1表のとおり、出火件数が38件と前年（52件）に比べ14件減少し、建物火災は前年と比較するとほぼ同件数であるが、り災世帯及びり災人員は増加している。

火災種別で見ると、建物火災が20件で全体の52.6%と最も高い割合であり、次いでその他の火災が12件で31.6%、車両火災が6件で15.8%となっている。

**第1表 平成28年中の火災状況と前年との比較**

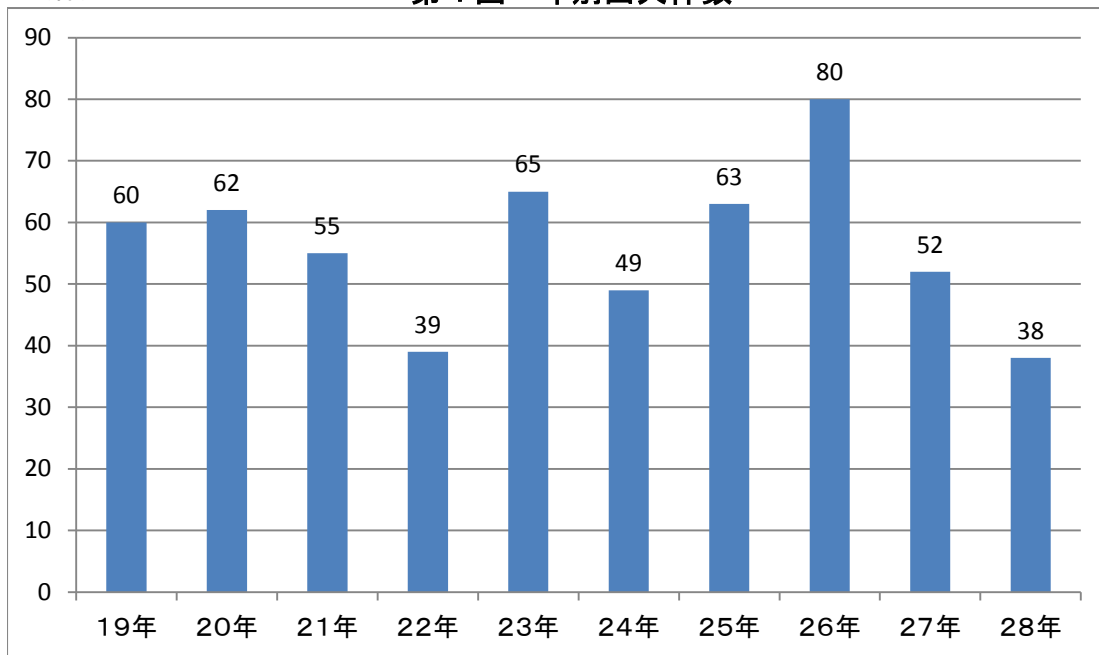
区 分	単位	平成28年(A)	平成27年(B)	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
出火件数	件	38	52	-14	-26.9
建物火災		20	19	1	5.3
車両火災		6	7	-1	-14.3
その他の火災		12	26	-14	-53.8
焼損棟数	棟	29	29	0	0.0
全焼		9	8	1	12.5
半焼		1	1	0	0.0
部分焼		9	6	3	50.0
ぼや		10	14	-4	-28.6
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	1,162	674	488	72.4
死者	人	0	4	-4	-100.0
負傷者		5	4	1	25.0
り災世帯	世帯	21	8	13	162.5
り災人員	人	41	36	5	13.9
損害額	千円	78,281	52,804	25,477	48.2
建物火災		77,444	43,409	34,035	78.4
車両火災		755	1,924	-1,169	-60.8
その他の火災		82	7,471	-7,389	-98.9
出火率	%	2.8	3.8	-1.0	-26.3

- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。  
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。  
 3 損害額及び増減率は、表示単位未満を四捨五入した。

## 年別出火件数

過去10年間の出火件数をみると第1図のとおり、平成19年以降の3年間は、60件前後でほぼ横ばい状態であるが、その後は増減を繰り返し、平成26年が80件と最も多くなっている。平成28年は38件と最も少なく、1日当たりの出火件数は0.1件であり、約9.6日に1件の割合で火災が発生している。

(件) **第1図 年別出火件数**



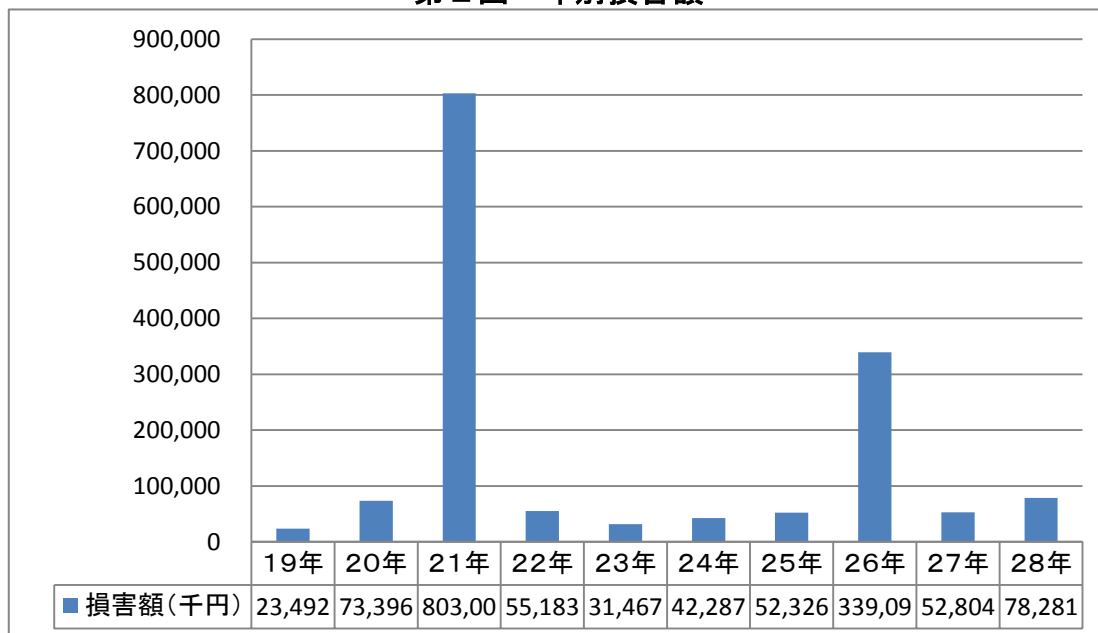
## 年別損害額

損害額は78,281千円であり、前年(52,804千円)に比べ25,477千円増加している。また、火災1件当たりでは2,060千円となっており、前年(1,015千円)と比べて、1,045千円増加している。

過去10年間の損害額をみると第2図のとおり平成21年が最も多く、次いで平成26年、平成20年の順となっている。

なお、損害額の99%が建物火災によるものである。

**第2図 年別損害額**



## 署別出火件数

出火件数の38件を署別にみると第2表のとおり、本署が17件で最も多く、次いで稲沢東分署の10件、平和分署の6件、祖父江分署の5件の順となっている。

署別出火件数を前年と比べてみると、本署は増加しているが、稲沢東分署、祖父江分署及び平和分署は減少し、合計で昨年の52件から26.9%減少している。

第2表 署別出火件数前年比較

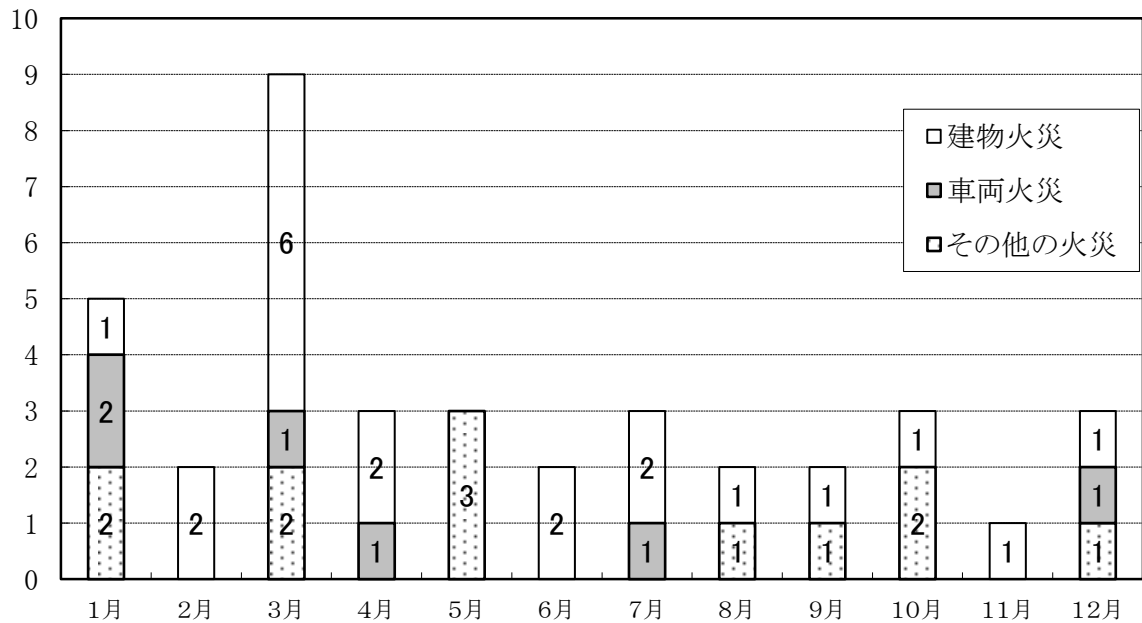
	平成28年(A) 出火件数	平成27年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	17	15	2	13.3
稲沢東分署	10	17	-7	-41.2
祖父江分署	5	10	-5	-50.0
平和分署	6	10	-4	-40.0
合計	38	52	-14	-26.9

## 月別出火件数

月別の発生件数は、11月が最も少ない1件であり、火災種別ごとにみると建物火災は3月に6件、車両火災は1月に2件、その他の火災は、5月に3件と最も多くなっている。

(件)

第3図 月別出火件数

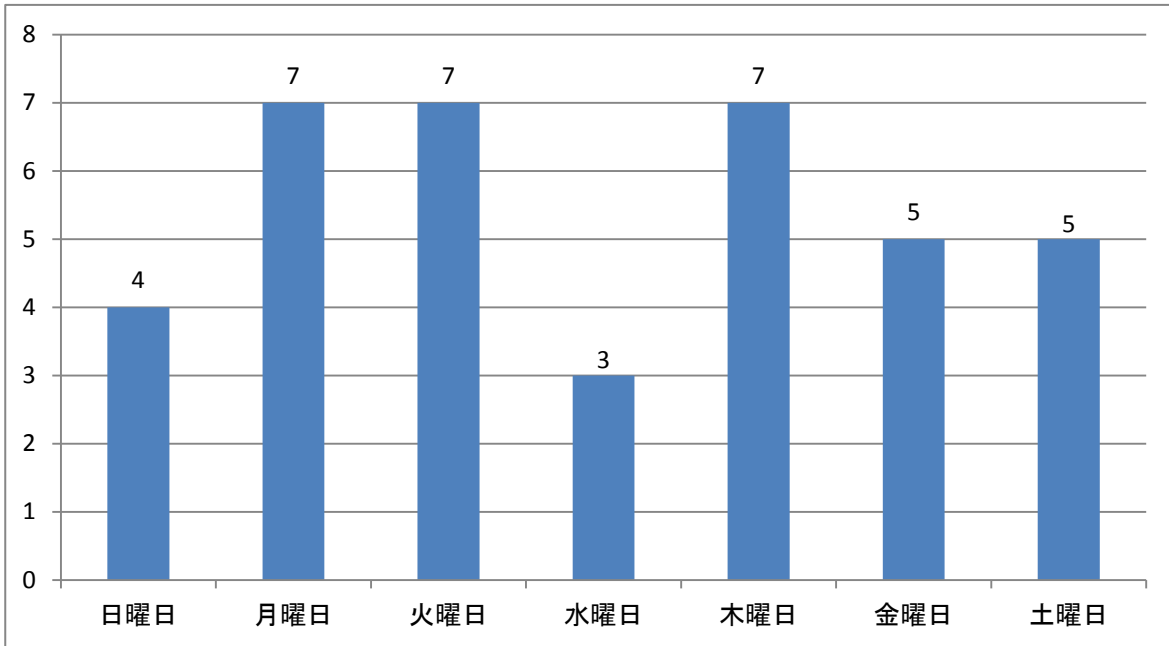


## 曜日別出火件数

出火件数38件を曜日別にみると第4図のとおり、月曜日、火曜日及び木曜日が7件と最も多くなっている。

(件)

第4図 曜日別出火件数



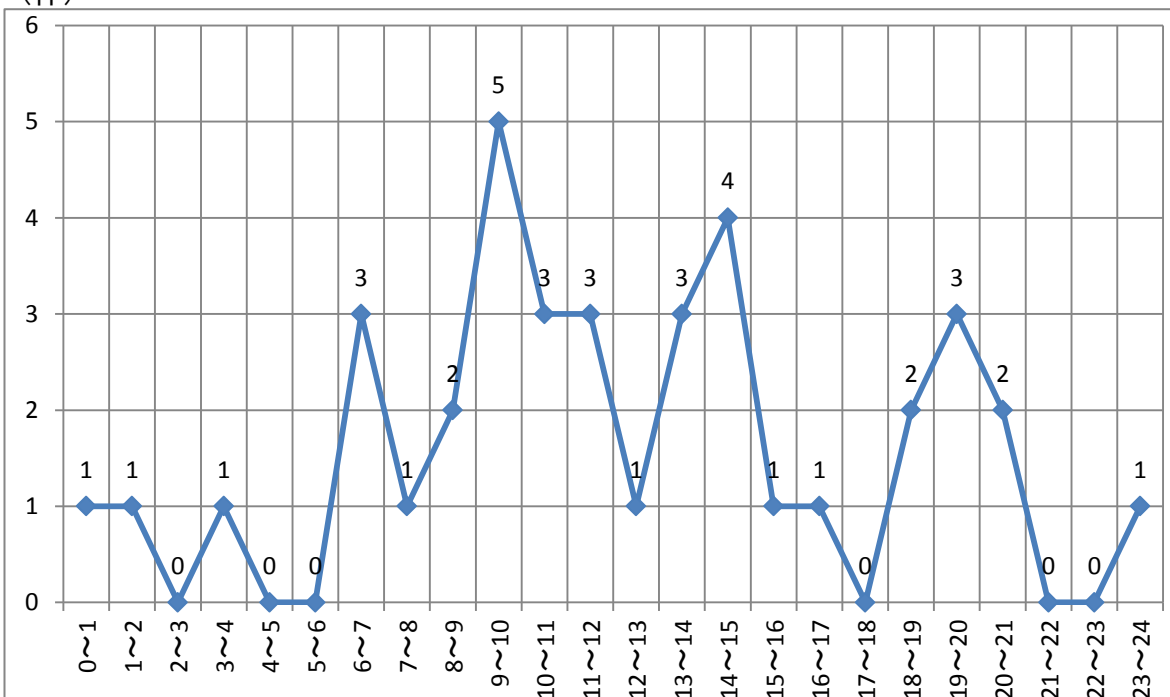
## 時間別出火件数

出火件数38件を時間別にみると第5図のとおり、9時から10時までが5件と最も多くなっており、次いで14時から15時までが4件となっている。

全体的に見ると、就寝している可能性のある22時から6時までの出火件数は4件であり、一般的に家事や仕事をしている6時から22時までに34件と多く発生している。

(件)

第5図 時間別出火件数



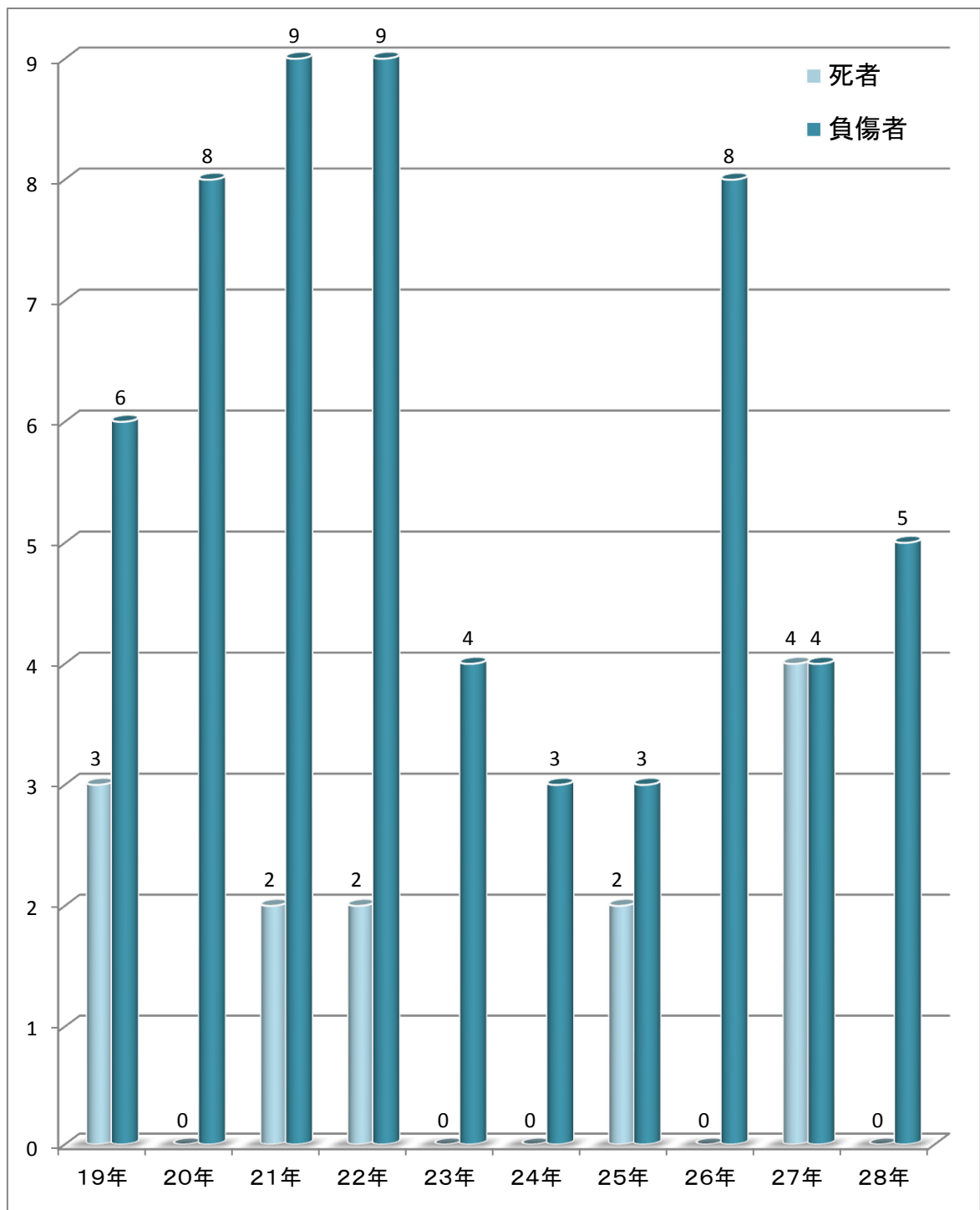
# 火災による死傷者数

平成28年の火災による死傷者発生状況については、死者0人、負傷者5人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は平成21年及び平成22年が9人と最も多く、次いで平成20年及び平成26年の8人の順となっている。

(人) 第6図 年別死傷者数

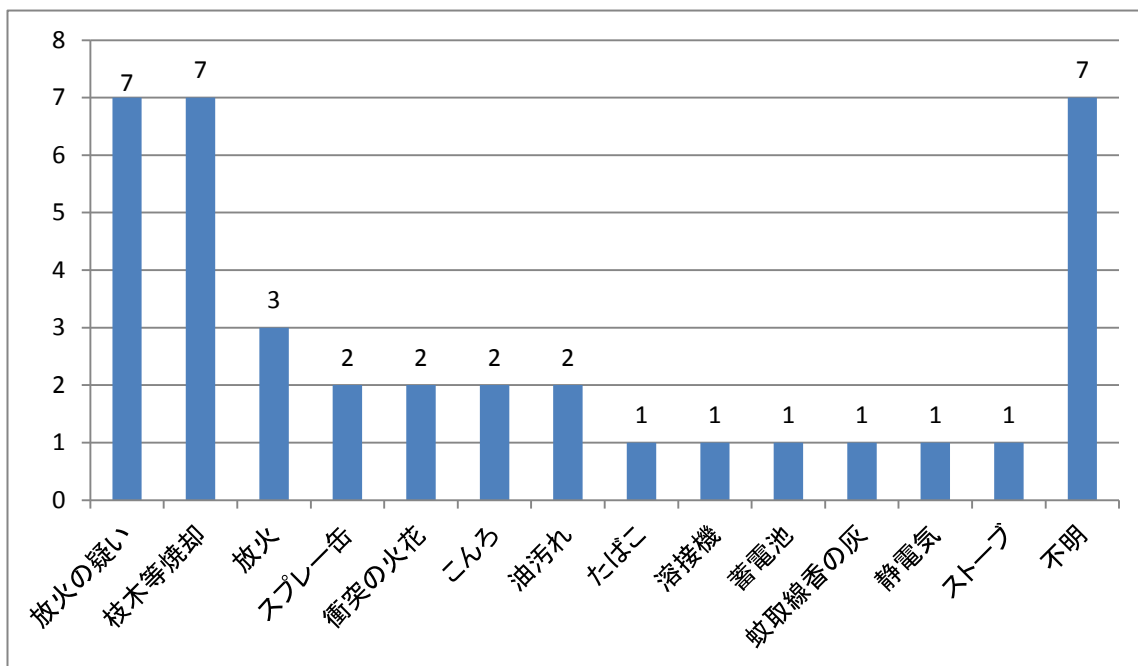




## 出火原因別出火件数

出火件数38件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火の疑い及び枝木等焼却による火災が7件と多く発生し、全体の18.4%を占めている。

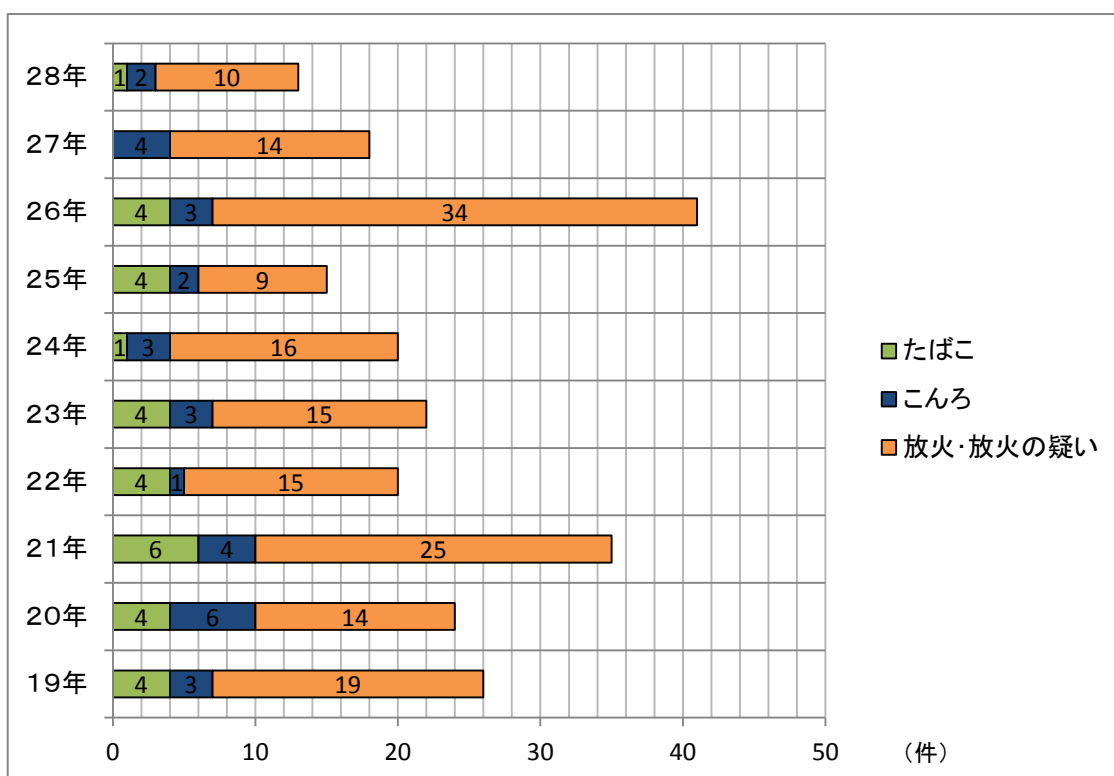
(件) **第7図 出火原因別出火件数**



## 出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、平成19年以降放火・放火の疑いによるものが毎年上位を占め、平成26年の34件が最も多く次いで平成21年の25件と多く発生している。

**第8図 出火原因の推移**



# 救 急 概 況

救急出場及び搬送人員状況は、第1表のとおり、救急出場件数は5,884件で前年と比較して231件増加している。1日当たりの平均出場件数は、16.1件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は5,659人で前年と比較して210人増加している。

なお、当消防本部管内の住民24人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

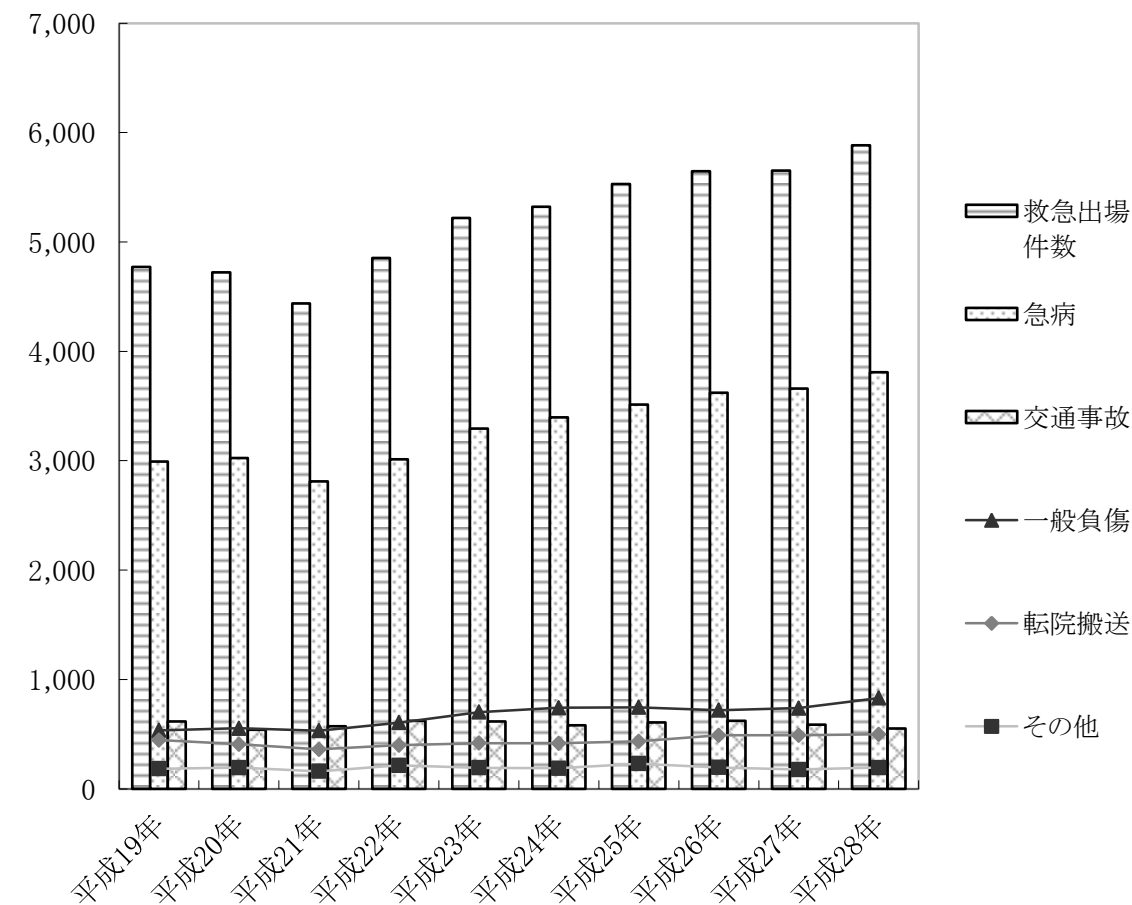
第1表 救急出場及び搬送人員状況 (件)

事故種別 署別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		本署	平成27年	9			187	18	10	239	5	9	1,134
平成28年					195	18	10	233	4	8	1,068	80	1,616
稲沢東分署	平成27年	15			162	17	8	248	5	14	1,036	71	1,576
	平成28年	3			168	17	8	242	5	9	995	70	1,517
祖父江分署	平成27年	14			207	26	4	295	7	17	1,508	230	2,308
	平成28年	4			218	25	4	287	8	12	1,448	229	2,235
平和分署	平成27年	6			241	16	18	350	8	18	1,646	251	2,554
	平成28年	2			249	16	19	338	9	11	1,562	250	2,456
合計	平成27年	3	4	95	8	5	102	3	6	528	135	889	
	平成28年	2	1	100	8	5	101	3	4	502	136	862	
合計	平成27年			69	12	4	118	3	11	563	129	909	
	平成28年			67	12	4	113	4	6	527	129	862	
合計	平成27年			98	12	8	103	1	2	491	48	763	
	平成28年			100	11	8	98	1	2	469	47	736	
合計	平成27年			79	16	4	114		11	565	56	845	
	平成28年			82	16	4	112		8	548	54	824	
合計	平成27年	26	0	4	587	64	27	739	16	34	3,661	495	5,653
	平成28年	6	0	1	613	62	27	719	16	26	3,487	492	5,449
合計	平成27年	21	0	0	551	61	34	830	16	54	3,810	507	5,884
	平成28年	5	0	0	566	61	35	805	18	34	3,632	503	5,659

# 種別ごとの救急出場件数

救急出場件数5,884件を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおり、急病は過去最高件数となり、他の種別についても交通事故以外は増加傾向である。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

(件)

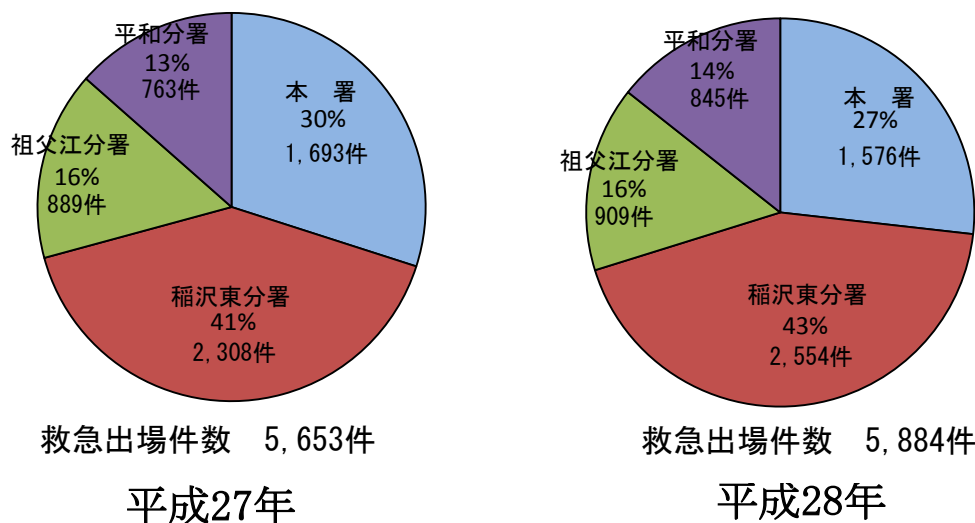
種別	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
救急出場件数	4,773	4,722	4,437	4,855	5,221	5,323	5,531	5,647	5,653	5,884
急病	2,992	3,025	2,812	3,014	3,294	3,396	3,514	3,621	3,661	3,810
交通事故	616	541	572	623	615	581	608	622	587	551
一般負傷	535	554	532	605	702	742	745	719	739	830
転院搬送	446	408	361	399	418	416	434	490	490	499
その他	184	194	160	214	192	188	230	195	176	194

## 署別救急出場件数

救急出場件数 5,884 件を署別に見ると、第2図のとおり、稲沢東分署が 2,554 件と最も多く、次いで本署、祖父江分署、平和分署の順となっている。

前年と比較すると、本署は 117 件減少、稲沢東分署は 246 件、祖父江分署は 20 件、平和分署は 82 件増加し、合計 231 件の増加となった。

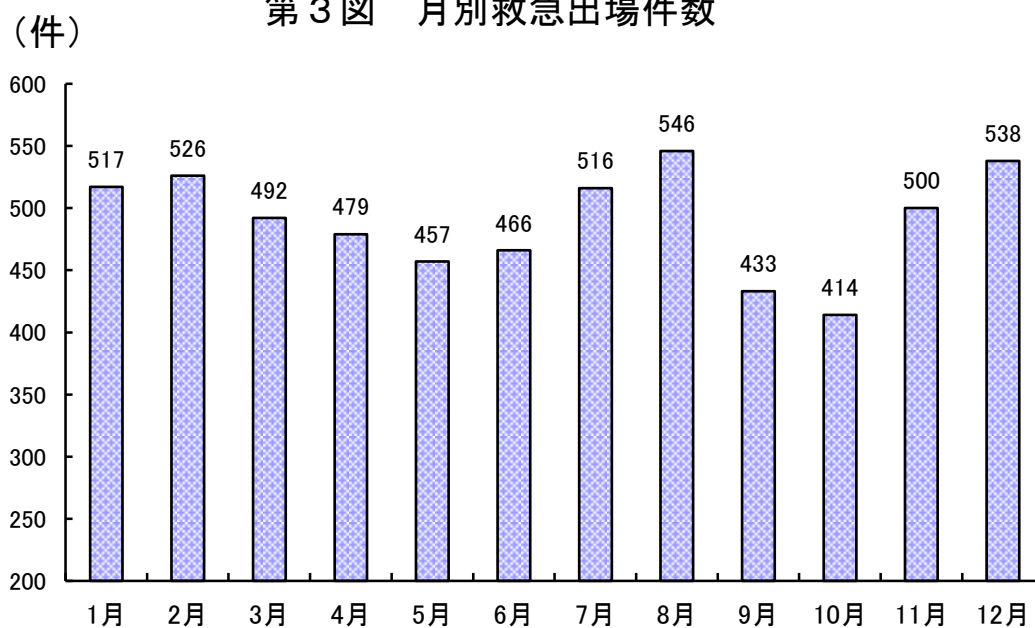
第2図 署別救急出場件数



## 月別救急出場件数

救急出場件数 5,884 件を月別に見ると、第3図のとおり、8月が 546 件と最も多く、次いで12月、2月の順となっている。最も少なかったのが10月の 414 件で、月平均にすると 490 件となる。

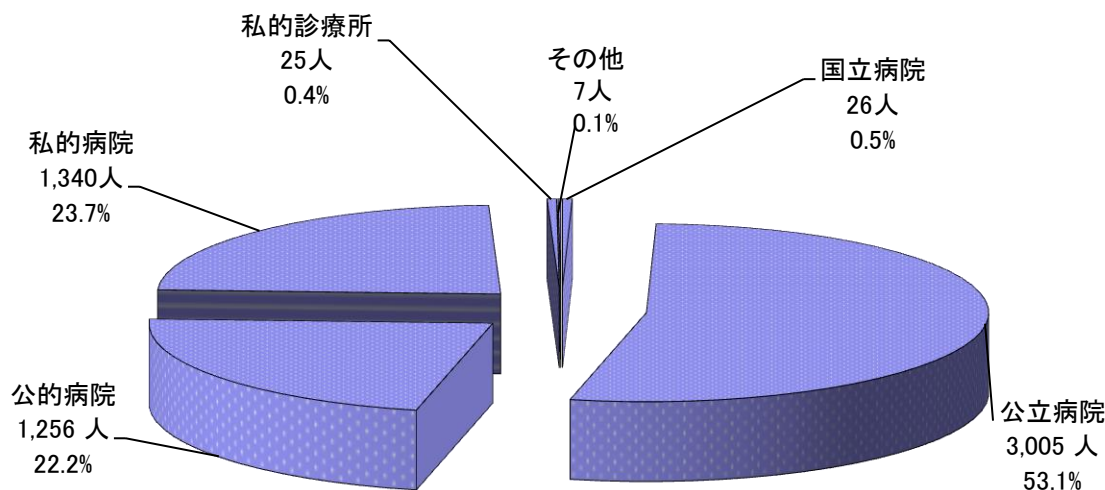
第3図 月別救急出場件数



# 医療機関別搬送人員

搬送された5,659人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり、公立病院が3,005人と最も多く、次いで公的病院、私的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

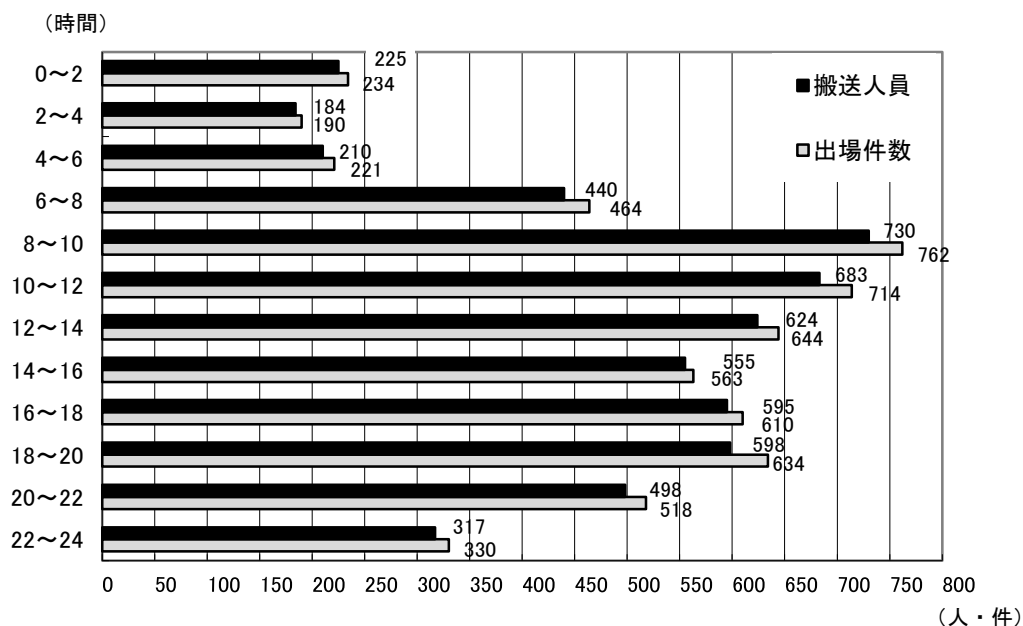


# 時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,884件及び搬送人員5,659人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は8時から10時の時間帯が762件と最も多く、次いで10時から12時、12時から14時の順になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の190件となっている。

第5図 時間別救急出場及び搬送人員

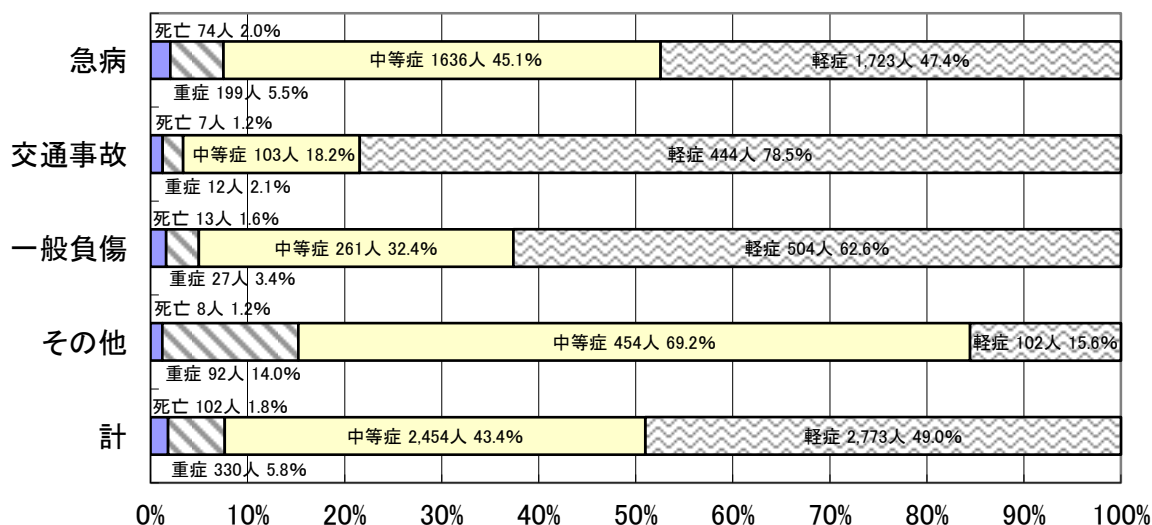


## 傷病程度別搬送人員

搬送人員 5,659 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおり、軽症が 2,773 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が 566 人のうち 444 人（78.5%）が軽症で最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第 6 図 傷病程度別搬送人員の状況

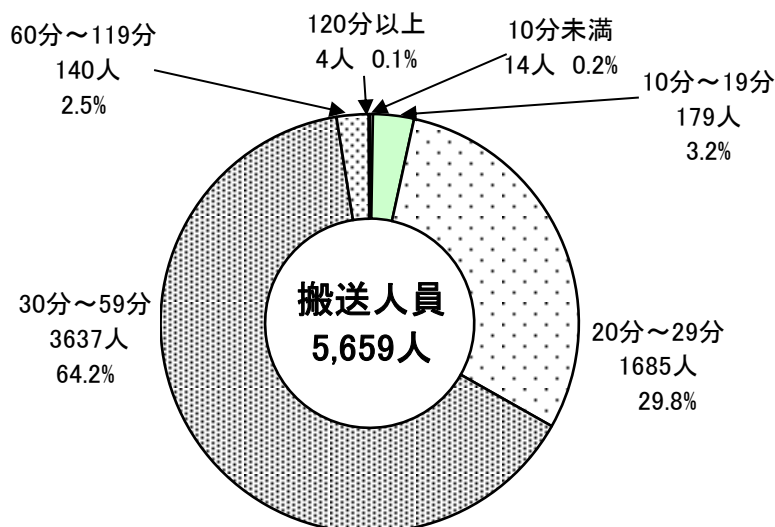


## 収容所要時間別搬送人員

搬送人員 5,659 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第 7 図のとおりである。

搬送人員の 3.4% が 20 分未満で病院に収容され、30 分未満になると 33.2% が収容されている。しかし、30 分以上は 66.8% であり、この中には市外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第 7 図 収容所要時間別搬送人員の状況



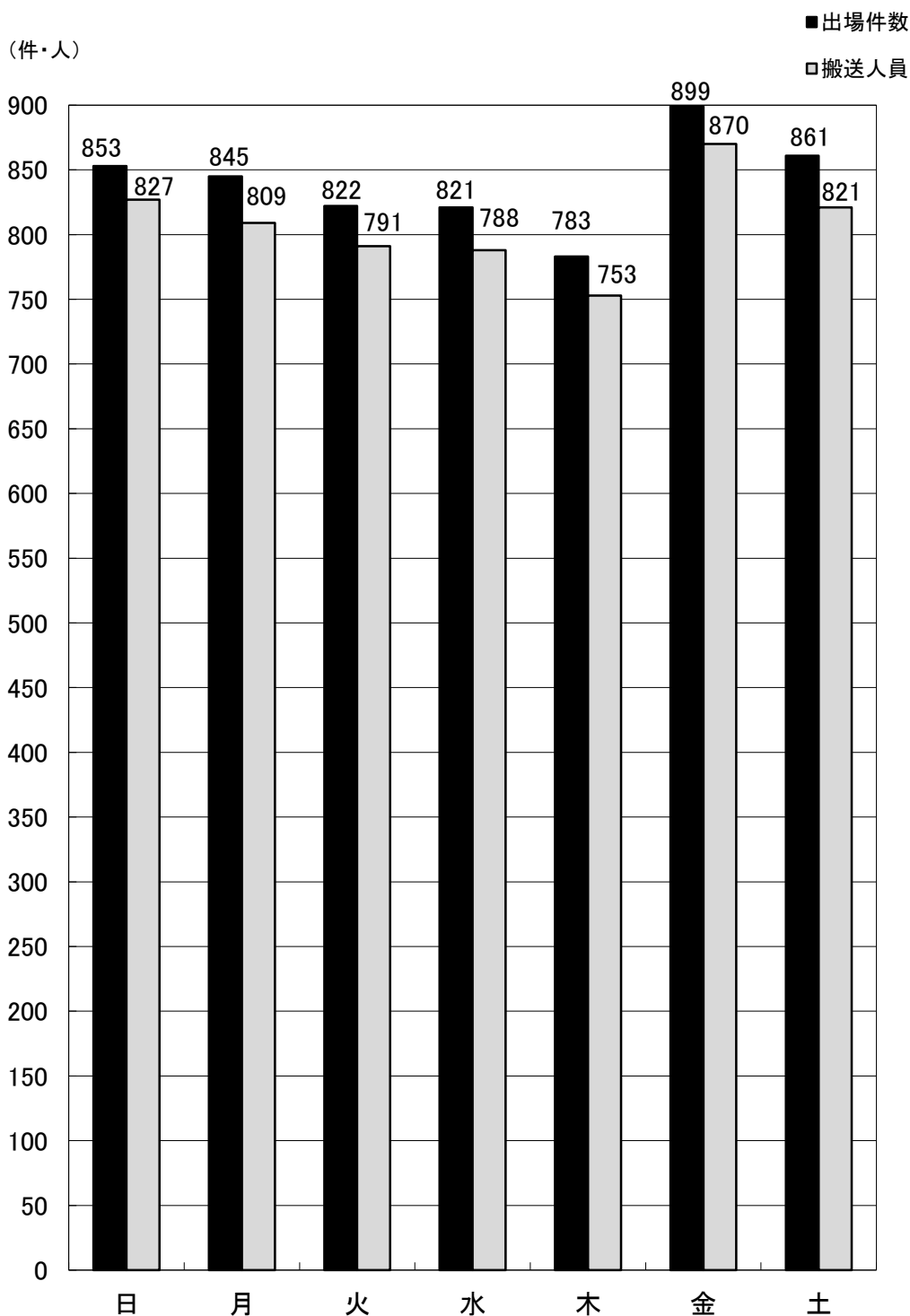
## 曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,884件及び搬送人員5,659人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、金曜日が899件と最も多く、次いで土曜日、日曜日の順となっており、最も少ないのは木曜日の783件となっている。

搬送人員は、金曜日が870人と最も多く、次いで日曜日、土曜日の順となっており、最も少ないのは木曜日の753人となっている。

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員



# 救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は58件で、前年の45件と比較すると13件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、交通事故が29件（50.0%）で最も多く、次いでその他の事故が17件（29.3%）となっている。

救助活動件数は25件であり、この活動により30人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、交通事故が12人で全体の40.0%を占めている。

## 第1表 救助出動及び活動状況

所轄別		事故種別		火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
		出動件数	活動件数									
本署	出動件数	平成27年		1	4		1	5			5	16
		平成28年		1	9		1	2	1		3	17
	活動件数	平成27年		1	1		1	4			4	11
		平成28年		1	4		1	1	1		2	10
	救出人員	平成27年		1	1		1	4			4	11
		平成28年		1	3		1	1	4		1	11
稲沢東分署	出動件数	平成27年			7	2		4			2	15
		平成28年			10	1		4			10	25
	活動件数	平成27年			3	1		2			2	8
		平成28年			3	1		4			3	11
	救出人員	平成27年			4	1		2			2	9
		平成28年			5	1		6			3	15
祖父江分署	出動件数	平成27年		1	6							7
		平成28年			3						3	6
	活動件数	平成27年		1	2							3
		平成28年			1							1
	救出人員	平成27年		1	2							3
		平成28年			1							1
平和分署	出動件数	平成27年			4			2			1	7
		平成28年			7		1	1			1	10
	活動件数	平成27年			3			2				5
		平成28年			3							3
	救出人員	平成27年			3			2			1	6
		平成28年			3							3
合計	出動件数	平成27年		2	21	2	1	11	0	0	8	45
		比率		4.4%	46.7%	4.4%	2.2%	24.5%	0.0%	0.0%	17.8%	100%
		平成28年		1	29	1	2	7	1	0	17	58
		比率		1.7%	50.0%	1.7%	3.5%	12.1%	1.7%	0.0%	29.3%	100%
	活動件数	平成27年		2	9	1	1	8	0	0	6	27
		平成28年		1	11	1	1	5	1	0	5	25
	救出人員	平成27年		2	10	1	1	8	0	0	7	29
		平成28年		1	12	1	1	7	4	0	4	30

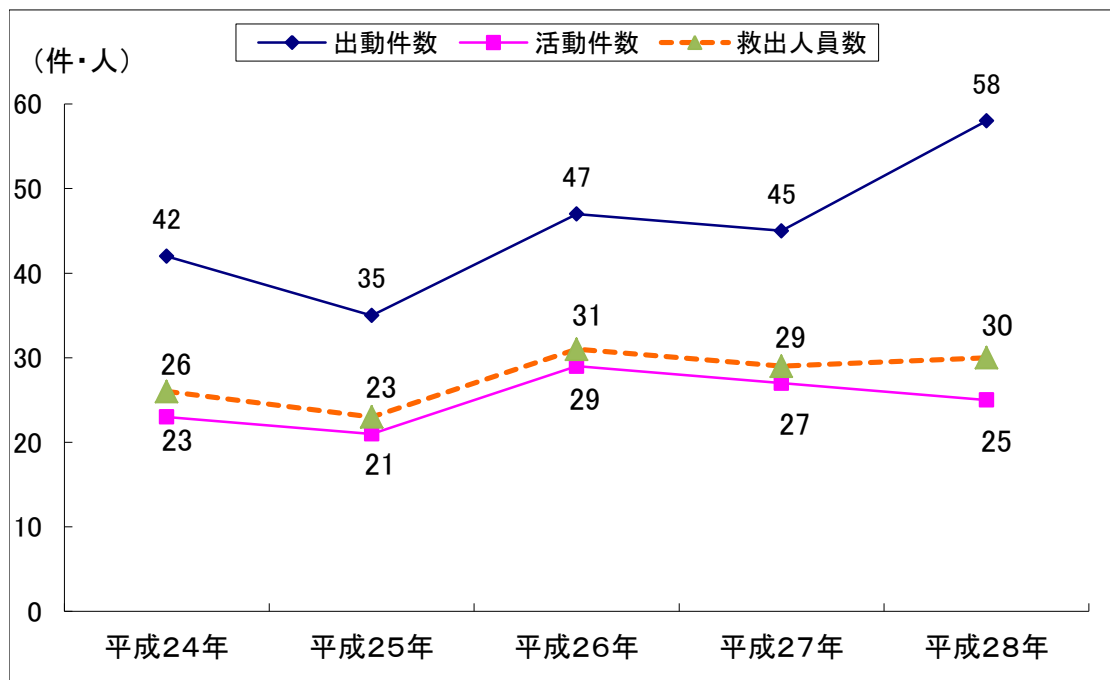


過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成28年の58件が最も多く、次いで平成26年の47件となっている。

救助活動件数を見ると、平成26年の29件が最も多く、次いで平成27年の27件となっている。

救出人員数を見ると、平成26年の31人が最も多く、次いで平成28年の30人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した58件を署別に見ると、第2図のとおり稲沢東分署が25件（43.1%）と最も多く、次いで本署が17件（29.3%）となっている。

第2図 署別出動状況

